

千葉市感染症発生動向調査情報

2025年 第8週 (2/17-2/23)

1 定点把握対象感染症(五類感染症の一部)

定点	報告定点医療機関数			
	第8週	第7週	第6週	第5週
小児科	18	18	18	18
インフルエンザ/COVID-19	27	28	28	28
眼科	5	5	5	4
基幹	1	1	1	1

上段: 報告患者数、下段: 定点当たりの報告数

定点当たりの報告数: 報告患者数/報告定点医療機関数

定点	感染症	発生動向	2/17-2/23 第8週	2/10-2/16 第7週	2/3-2/9 第6週	1/27-2/2 第5週
小児科	RSウイルス感染症		2 0.11	5 0.28	6 0.33	5 0.28
	咽頭結膜熱		2 0.11	0 0.00	1 0.06	0 0.00
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↑	40 2.22	30 1.67	57 3.17	57 3.17
	感染性胃腸炎	↑	276 15.33	205 11.39	173 9.61	202 11.22
	水痘		7 0.39	6 0.33	4 0.22	4 0.22
	手足口病		1 0.06	1 0.06	1 0.06	0 0.00
	伝染性紅斑	★★★↓	20 1.11	30 1.67	33 1.83	45 2.50
	突発性発しん		3 0.17	6 0.33	5 0.28	6 0.33
	ヘルパンギーナ		0 0.00	0 0.00	0 0.00	1 0.06
	流行性耳下腺炎		1 0.06	1 0.06	0 0.00	1 0.06
I C O V I D	インフルエンザ (高病原性鳥インフルエンザを除く)	↑	84 3.11	64 2.29	56 2.00	115 4.11
	新型コロナウイルス感染症	↑	94 3.48	91 3.25	116 4.14	132 4.71
眼科	急性出血性結膜炎		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
	流行性角結膜炎		2 0.40	2 0.40	3 0.60	2 0.50
基幹	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
	細菌性髄膜炎 (髄膜炎菌性髄膜炎を除く)		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
	マイコプラズマ肺炎		0 0.00	0 0.00	0 0.00	2 2.00
	無菌性髄膜炎		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
	インフルエンザ入院		0 0.00	0 0.00	2 2.00	1 1.00
	新型コロナウイルス感染症入院	↑	6 6.00	4 4.00	1 1.00	6 6.00

「発生動向」欄のマークについて

< 流行状況 >

★★★: 「警報レベル」流行発生警報開始基準値以上(終息基準値を下回るまで継続表示)

★: 「注意報レベル」流行発生注意報基準値以上

※警報レベル・注意報レベルについては、市感染症情報センターWebSiteの「警報・注意報の解説」のページをご覧ください。

< 増減 >: マークの対象は当該週又は前週の定点当たりの報告数が1.00以上

↑・↓: 「増加・減少」定点当たりの報告数が前週より5%を超えた増加または減少

2 全数報告対象感染症 5 件

感染症		性別	年齢層	感染症	性別	年齢層
結核	(無症状病原体保有者)	男	50歳代	侵襲性肺炎球菌感染症	男	30歳代
	(無症状病原体保有者)	男	70歳代	梅毒	女	30歳代
E型肝炎		男	80歳代	-	-	-

結核2件(13)、E型肝炎1件(2)、侵襲性肺炎球菌感染症1件(5)、梅毒1件(12)の発生届があった。

※ ()内は当該年の累積数。累積数は速報値であり、データが随時訂正されるため変化します。

3 定点当たり報告数 第8週のコメント

<A群溶血性レンサ球菌咽頭炎>

前週より増加し2.22となった。年齢階級別の報告数は4歳が最多。

<感染性胃腸炎>

前週より増加し15.33となった。過去5年の同時期と比べると最多のまま。年齢階級別の報告数は1歳が最多。

<伝染性紅斑>

前週より減少し1.11となったが、流行発生警報は継続中であり、過去5年の同時期と比べると最多のまま。年齢階級別の報告数は2歳、4歳及び6歳が多かった。

<インフルエンザ>

前週より増加し3.11となった。年代別の報告数は0-9歳が最も多く、10歳未満では9歳が最多。

<新型コロナウイルス感染症>

前週より増加し3.48となった。年代別の報告数は0-9歳が最も多く、10歳未満では4歳が最多。

<新型コロナウイルス感染症入院>

前週より増加し6.00となった。

■ 各感染症のグラフ、インフルエンザ発生状況は、市感染症情報センターWebSiteでご覧いただけます。

・感染症発生グラフ

<https://www.city.chiba.jp/hokenfukushi/iryoisei/khoken/kkagaku/idsc/documents/graph2025.pdf>

・インフルエンザ発生状況

<https://www.city.chiba.jp/hokenfukushi/iryoisei/khoken/kkagaku/idsc/documents/influ2025.pdf>

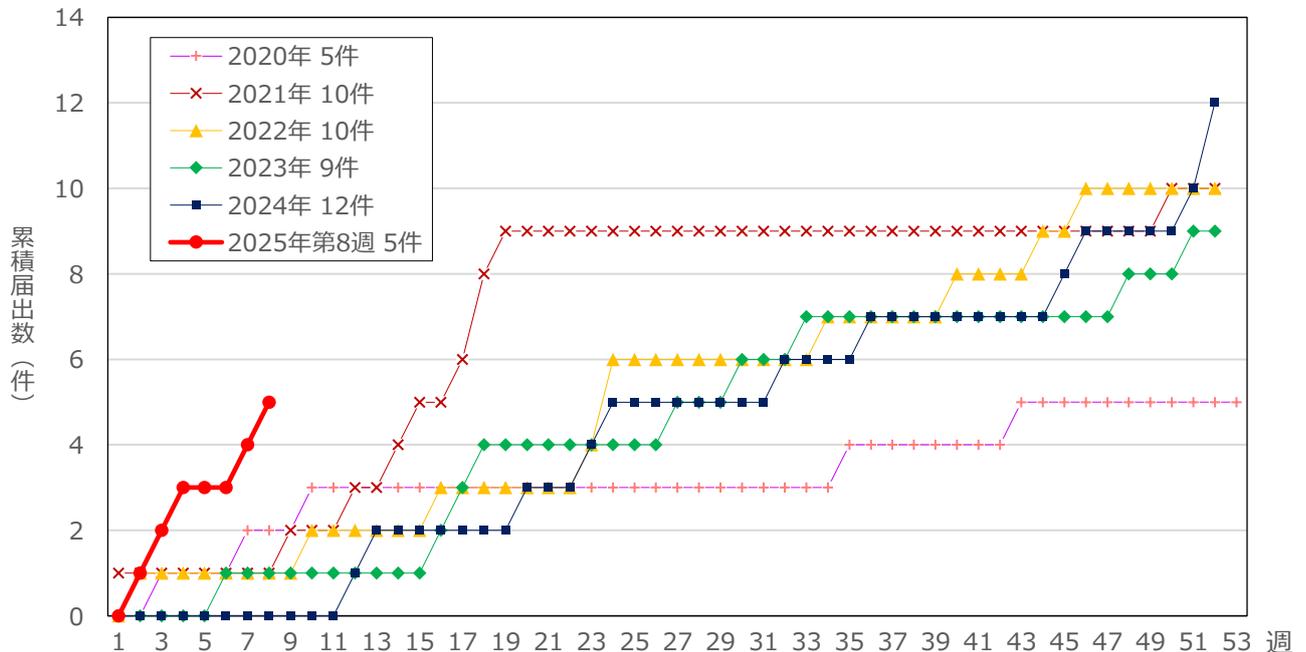
■ トピック ■

<侵襲性肺炎球菌感染症>

2025年第7週時点の全国の届出累積数は780件であり、都道府県別では東京都(89件)が最も多く、次いで大阪府(68件)、愛知県(58件)の順となっています。千葉県は38件で、全国で7番目の多さとなっています。

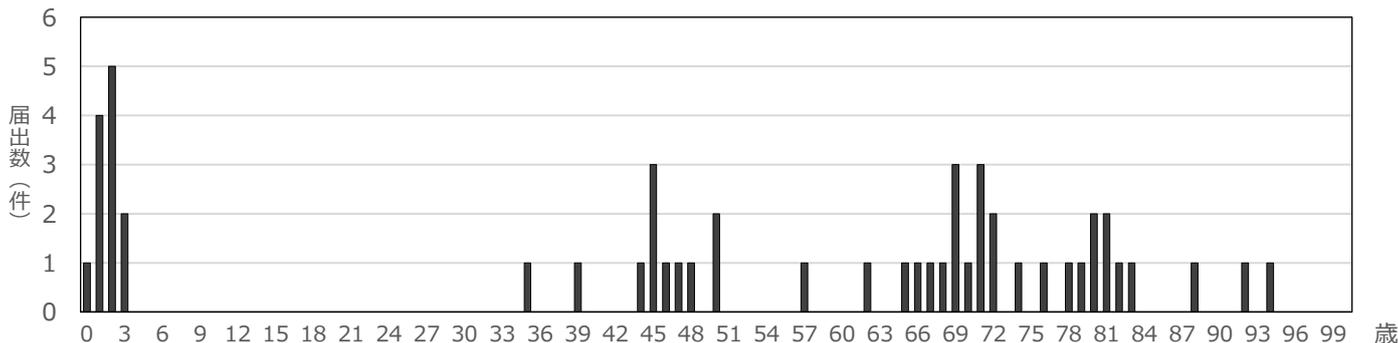
千葉市では2025年第8週に1件の届出があり、累積届出数は5件となりました。過去5年で最も多かった2024年(12件)の半数近くであり、過去5年の同時期と比べると最多となっています。2020年以降増加傾向となっており、2024年第51週からほぼ毎週連続して届出があることから、今後の発生動向に注意が必要です(図1)。

図1 年別届出累積数(2020年第1週-2025年第8週)



2020年第1週から2025年第8週までに男性26件(51.0%)、女性25件(49.0%)の合計51件の届出がありました。年齢別の届出数は、小児と高齢者に多く、2歳(5件、9.8%)で最多となっており、4歳～30歳前半では届出がなく、60歳以上では他の年代(5歳未満を除く)に比べ届出が多くなります(図2)。

図2 診断時年齢別 (2020年第1週-2025年第8週 n=51)



年別の届出数に占める各年齢群の割合は、2021年以降は60歳以上の占める割合が半数以上を占めています。2025年は、第8週時点で5-59歳(5件中3件、60.0%)の占める割合が最多となっています(図3)。

病型を届出票の症状及び病原体の検出検体欄に記載された内容を基に髄膜炎、肺炎、菌血症、その他と分類*すると、各病型の占める割合は年齢群によって異なり、0-4歳では菌血症(12件中5件、41.7%)が多く、60歳以上ではその他以外では肺炎(27件中7件、25.9%)が多くなっています(図4)。

図3 年別・年齢群別の割合 (2020年第1週-2025年第8週 n=51)

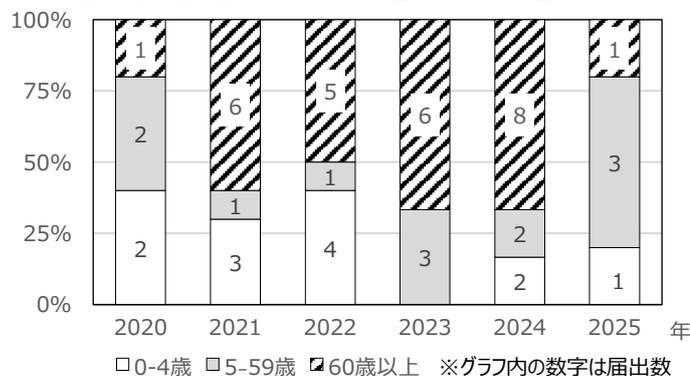
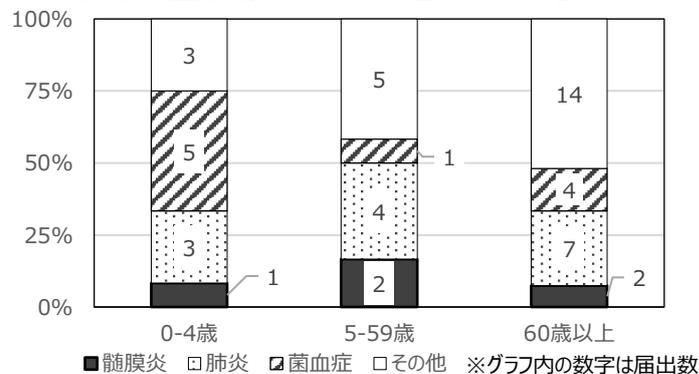


図4 年齢群別・病型別の割合 (2020年第1週-2025年第8週 n=51)



*髄膜炎:症状欄に「髄膜炎」の記載がある、又は髄液から菌が検出されたもの

肺炎:髄膜炎以外で症状欄に「肺炎」及び「菌血症」の記載があるもの

菌血症:髄膜炎、肺炎以外で、症状欄に「菌血症」の記載があるもの

その他:「髄膜炎」～「菌血症」以外のもの

注:菌血症を伴う肺炎が侵襲性肺炎球菌感染症であり、菌血症を伴わない肺炎は非侵襲性の肺炎球菌感染症に分類されることから、血液から菌が検出され症状欄に肺炎の記載があっても菌血症の記載がない症例は「その他」に分類しています。

侵襲性肺炎球菌感染症は、*Streptococcus pneumoniae* による侵襲性感染症として、本菌が髄液又は血液などの無菌部位から検出された感染症のことです。

潜伏期間は不明で、小児及び高齢者を中心とした発症が多く、小児と成人でその臨床的特徴が異なります。

小児では、肺炎を伴わず、発熱のみを初期症状とした感染巣のはっきりしない菌血症例が多く、髄膜炎は、直接発症するものの他、肺炎球菌性の中耳炎に続いて発症することがあります。成人では、発熱、咳嗽(がいそう:いわゆる咳のこと)、喀痰、息切れを初期症状とした菌血症を伴う肺炎が多く、髄膜炎例では、頭痛、発熱、痙攣(けいれん)、意識障害、髄膜刺激症状等の症状を示します。侵襲性肺炎球菌感染症は致死的疾患であり、引き続き発生動向を注視する必要があります。

予防にはワクチンの接種が有効です。

千葉市では小児を対象に結合型ワクチンが定期接種化され、高齢者を対象に予防接種の費用助成を行っています。

詳細は、下記URLをご参照ください。

「小児用肺炎球菌ワクチンの接種のご案内」

<https://www.city.chiba.jp/hokenfukushi/iryoeisei/hokenjo/kansensho/haienkyuukin.html>

「高齢者肺炎球菌の予防接種のご案内」

https://www.city.chiba.jp/hokenfukushi/iryoeisei/hokenjo/kansensho/elderly_pneumonia.html

<参考>千葉県感染症情報センター

<https://www.pref.chiba.lg.jp/eiken/c-idsc/index.html>